

ストップ・リニア！訴訟 高裁審理開始

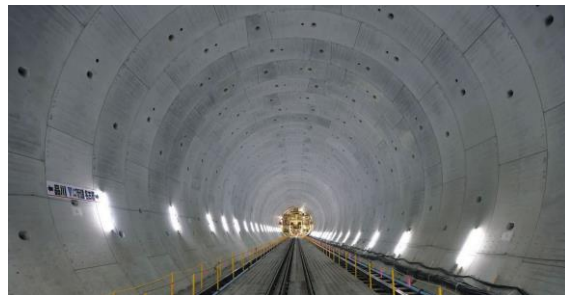
原告・天野（川崎）、森（静岡）氏らが意見陳述

期日：4月25日（木）

時間：午前11時～

（東京高裁）

集合：午前10時10分
（東京地方裁判所前）



調査掘進で133mの大深度トンネル掘進
～川崎市・東百合ヶ丘工区

即時工事認可のツケがリニア実現に暗い影を落とす

2016年5月20日、718人の原告がリニア工事認可取消しを求め提訴して7年余りが経過しました。第二次訴訟の67人が加わり、行政訴訟としては全国規模の大きな裁判となりました。悔しいことに2020年12月1日、地裁が不当にも、532人の原告適格を認めない「中間判決」を出しました。原告側はひるまずサポーターの支援も受け、252名がストップ・リニア！訴訟を、また167人が東京高裁に控訴して闘ってきました。

そして7月18日、東京地裁は「工事認可は国交大臣の裁量内」として、「工事認可取消し」を求める原告側の主張を退ける不当判決を出しました。その後152人の原告で東京高裁に上告（控訴）しました。今回は第1回口頭弁論となります。沿線各地ではリニア工事が大幅に遅れ、リニア実現の可能性さえ疑わしい状況になっています。

今回の口頭弁論では、弁護団が環境アセスの杜撰さと認可の違法性を主張、原告の天野（川崎）、森（静岡）氏が、沿線の大深度工事の問題点や大井川の減水について意見陳述します。

裁判官の正当な判決は、「リニア工事実施計画の認可取消し」です。多くの皆さんの傍聴と報告集会への参加をお願いします。

<4月25日の行動予定>

- 10:10 東京地裁前集会
- 10:30 傍聴券抽選（予定）
- 11:00 開廷（東京高裁101法廷）
- 13:00 院内報告集会

（会場 衆議院第一議員会館第3会議室）

裁判報告（弁護団他）今後の方針

リニア静岡問題の現状と課題

講演：塩坂邦雄氏（地質学者）

（静岡県中央新幹線環境保全会議委員）



東京高裁は、地下鉄丸ノ内線、千代田線
A1 出口から徒歩1分です。地裁と同じ場所

12時半から議員会館1階で入館証配布